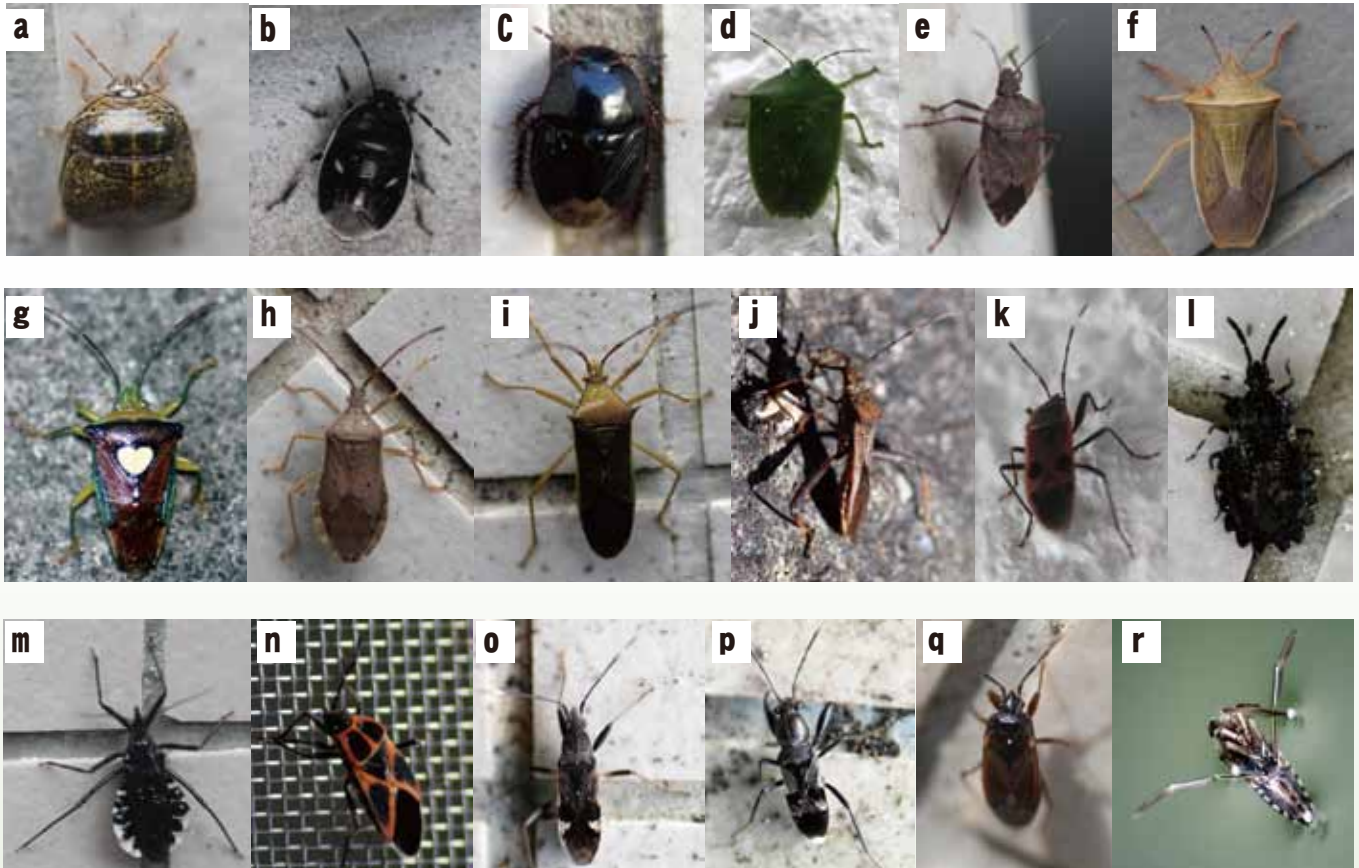


壁の昆虫たち (その1) カメムシの仲間

横山謙二



ふじミュージーで記録されたカメムシ

- a: マルカメムシ, b: ミツボシツチカメムシ, c: マルツチカメムシ, d: ツヤアオカメムシ, e: クサギカメムシ, f: エビイロカメムシ, g: エサキモンキツノカメムシ, h: ホシハラビロヘリカメムシ, i: ミナミトゲヘリカメムシ, j: ホソヘリカメムシ, k: ヒメホシカメムシ, l: ノコギリヒラタカメムシ, m: ヨコヅナサシガメ, n: ジュウジナガカメムシ, o: オオモンシロナガカメムシ, p: ヒョウタンナガカメムシ, q: ツマジロナガカメムシ, r: マツモムシ

有度丘陵の西端にあるふじのくに地球環境史ミュージアムは、建物の裏が森に囲まれたところに位置するためか、多くの昆虫が観察できます。特に建物の白い壁には、春先から秋にかけて、多くの種類の昆虫が見られます。その理由は、壁が白いので昆虫が目立つだけなのか、夏場でも涼しいから集まるのか、などが考えられますが、よくわかりません。私は、博物館がオープンしたころから、この建物周辺で見られる昆虫を記録してきました。ここでは、これまでに記録した昆虫の中からカメムシの仲間についてご紹介します。

上の写真は、これまでに記録したカメムシの仲間です。マツモムシ (r) 以外は、すべて建物の周りで見つけたもので、おそらく、積極的に探せばもっと種類がいるでしょう。カメムシの仲間は、農作物を加害することで知られ、“くさい”という悪いイメージが一般的だと思います。昆虫にあまり興味がない私も、あまり良い印象はありませんでしたが、写真で記録しているうちに、甲虫に似ているもの (b, c)、背中に白いハートマークがあるもの (g)、カマのような前足を持つもの (p) など、その色・形状の多様さに驚かされました。

これらのカメムシは、ほとんどが街中でも見られる普通種ばかりですが、昨年、この博物館では、県内での記録がほんの数例しかない、アカギカメムシが採集されています (岸本・坂倉, 2016, 駿河の昆虫 No.254 p.6970)。アカギカメムシは、もともとは南西諸島から東洋熱帯地域に分布する種ですが、近年日本本土でも確認されるようになってきており、今後、県内でも記録が増加する可能性があり、また博物館でも見られるかもしれません。

今回報告しましたカメムシのほかにも甲虫や蛾・蝶など様々な昆虫の記録があります。徐々にこの会報で報告していきたいと思いますので、お楽しみに！